

国民宿舎運営事業特別会計 経営健全化計画（新旧対照表）

旧（平成 26 年 3 月一部変更）	新（令和 3 年 3 月一部変更）
<p>3 資金不足比率を経営健全化基準未満とする方策</p> <p>(1) 施設改築に係る起債元金への一般会計からの繰入</p> <p>今後、指定管理者制度を継続していく上において、改築資金の起債元金を指定管理者に負担させることは、これまでの桂浜荘の経営実績や社会情勢からは適当であるとは考えられず、これを営業収支と切り離すことにより、指定管理者の責任範囲を明確にし、経営改善に取り組む指定管理者の営業努力や工夫が発揮し易くすることが重要であるとする。</p> <p>このため、平成 7 年のリニューアルオープン時の改築資金の起債元金については、今後 10 年間にわたり一般会計からの繰り入れを行い、資金不足比率の改善を図るものとする。</p>	<p>3 資金不足比率を経営健全化基準未満とする方策</p> <p>(1) 施設改築に係る起債元金への一般会計からの繰入</p> <p>今後、指定管理者制度を継続していく上において、改築資金の起債元金を指定管理者に負担させることは、これまでの桂浜荘の経営実績や社会情勢からは適当であるとは考えられず、これを営業収支と切り離すことにより、指定管理者の責任範囲を明確にし、経営改善に取り組む指定管理者の営業努力や工夫が発揮し易くすることが重要であるとする。</p> <p>このため、平成 7 年のリニューアルオープン時の改築資金の起債元金については、今後 10 年間にわたり一般会計からの繰り入れを行い、資金不足比率の改善を図るものとしていたが、平成 30 年度末において資金不足比率は 31.9%まで改善し、翌年度には資金不足比率が経営健全化基準である 20%未満を達成する見通しとなったことから、令和元年度に計画していた 251,028 千円の繰り入れを、令和元年度から 6 年間にわたって平準化することを平成 30 年度に決定した。</p> <p>しかしながら、令和元年度の資金不足比率は新型コロナウイルス感染症の影響により指定管理者からの納付金の一部を減額及び猶予したことなどから 22.5%となり、経営健全化基準である 20%未満を達成することはできなかったため、令和 6 年度まで継続される一般会計からの繰入をもって資金不足比率の改善を図る。</p>
<p>4 経営健全化計画期間</p> <p>平成 21 年度から平成 31 年度まで（11 年間）</p>	<p>4 経営健全化計画期間</p> <p>平成 21 年度から令和 2 年度まで（12 年間）</p>
<p>5 各年度ごとの方策に係る歳入及び歳出に関する計画</p> <p>平成 31 年度までの収支計画は次の表のとおりである。</p>	<p>5 各年度ごとの方策に係る歳入及び歳出に関する計画</p> <p>令和 2 年度までの収支計画は次の表のとおりである。</p>

## 国民宿舎運営事業特別会計 経営健全化計画（新旧対照表）

<p>6 各年度ごとの資金不足比率の見通し</p> <p>平成 24 年度以降は利用料金制導入に伴い、資金不足比率の算式が平成 23 年度までと異なることから、資金不足比率が大幅に増加するが、平成 26 年度には起債の償還が終了するため、その後は下がり、計画の <u>11 年目にあたる平成 31 年度</u>には資金不足比率は<u>-57.5%</u>となり、経営健全化基準の 20%を下回る。</p>	<p>6 各年度ごとの資金不足比率の見通し</p> <p>平成 24 年度以降は利用料金制導入に伴い、資金不足比率の算式が平成 23 年度までと異なることから、資金不足比率が大幅に増加するが、平成 26 年度には起債の償還が終了するため、その後は下がり、計画の <u>12 年目にあたる令和 2 年度</u>には資金不足比率は<u>-12.6%</u>となり、経営健全化基準の 20%を下回る。</p>
--	---

国民宿舍運営事業特別会計 経営健全化計画（新旧対照表）

■収支計画（旧）

		H20 (実績)	H21 (実績)	H22 (実績)	H23 (実績)	H24 (実績)	H25 (計画)	H26 (計画)	H27 (計画)	H28 (計画)	H29 (計画)	H30 (計画)	H31 (計画)
収益的収支	収入 A	321	330	357	298	35	35	35	35	35	35	35	35
	料金収入	321	330	357	298	0	0	0	0	0	0	0	0
	納付金	0	0	0	0	35	35	35	35	35	35	35	35
	繰入金 k'	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出 B	332	319	327	328	14	9	8	3	3	3	3	3
	支払利息	34	30	25	20	14	9	4	0	0	0	0	0
	職員給与費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C=A-B	△ 11	11	30	△ 30	21	26	27	32	32	32	32	32	
資本的収支	収入 D	0	4	126	164	126	148	176	251	251	251	251	251
	補助金	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	基金繰入金	0	0	0	38	0	22	50	0	0	0	0	0
	一般会計繰入金 k''	0	0	126	126	126	126	126	251	251	251	251	251
	支出 E	120	129	130	175	139	161	181	32	6	31	12	2
	建設改良費	2	6	2	42	0	22	56	32	6	31	12	2
	元金償還金	118	123	128	133	139	139	125	0	0	0	0	0
F=D-E	△ 120	△ 125	△ 4	△ 11	△ 13	△ 13	△ 5	219	245	220	239	249	
(再掲)繰入金 計 k'+k''	0	0	126	126	126	126	126	251	251	251	251	251	
収支再差引 C+F	△ 131	△ 114	26	△ 41	8	13	22	251	277	252	271	281	
実質赤字	1,335	1,449	1,423	1,464	1,456	1,443	1,421	1,170	893	641	370	89	
解消可能資金不足額	570	655	542	632	169	274	380	284	274	265	255	246	
資金不足額	765	794	881	832	1,287	1,169	1,041	886	619	376	115	△ 157	
資金不足比率	238.0%	240.2%	246.7%	279.7%	457.7%	429.3%	382.2%	325.5%	227.2%	138.2%	42.1%	-57.5%	
地方債残高	787	664	536	403	264	125							

国民宿舍運営事業特別会計 経営健全化計画（新旧対照表）

■収支計画（新）

		H20 (実績)	H21 (実績)	H22 (実績)	H23 (実績)	H24 (実績)	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2 (計画)
収益的 収支	収入 A	321	330	357	298	35	35	32	31	34	28	30	17	102
	料金収入	321	330	357	298	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	納付金	0	0	0	0	35	35	32	31	34	28	30	17	25
	繰入金 k'	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77
	支出 B	332	319	327	328	14	9	9	1	5	2	2	2	77
	支払利息	34	30	25	20	14	9	4	0	0	0	0	0	0
	職員給与費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C=A-B	△ 11	11	30	△ 30	21	26	23	30	29	26	28	15	25	
資本的 収支	収入 D	0	4	126	164	126	146	175	252	252	251	251	42	42
	補助金	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	基金繰入金	0	0	0	38	0	20	49	1	1	0	0	0	0
	一般会計繰入金 k''	0	0	126	126	126	126	126	251	251	251	251	42	42
	支出 E	120	129	130	175	139	159	177	5	6	8	6	15	4
	建設改良費	2	6	2	42	0	20	52	5	6	8	6	15	4
	元金償還金	118	123	128	133	139	139	125	0	0	0	0	0	0
F=D-E	△ 120	△ 125	△ 4	△ 11	△ 13	△ 13	△ 2	247	246	243	245	27	38	
(再掲)繰入金 計 k'+k''	0	0	126	126	126	126	126	251	251	251	251	42	119	
収支再差引 C+F	△ 131	△ 114	26	△ 41	8	13	21	277	275	269	273	42	63	
実質赤字	1,335	1,449	1,423	1,464	1,456	1,443	1,422	1,145	870	601	328	286	223	
解消可能資金不足額	570	655	542	632	169	266	371	278	268	259	249	240	230	
資金不足額	765	794	881	832	1,287	1,177	1,051	867	602	342	79	46	△ 7	
資金不足比率	238.0%	240.2%	246.7%	279.7%	457.7%	436.8%	401.5%	336.3%	235.2%	149.0%	31.9%	22.5%	△12.6%	
地方債残高	787	664	536	403	264	125								